

9月7日水曜日に、助言者の清水特別支援学校教諭 川原先生をお迎えして高等部研究授業を行いました。

<学部目標> 一人一人に応じて、社会自立できる力を養う

<研修テーマ> 社会自立を目指した授業づくり

～かかわりの中で、共に見つける学びの変化～

<研究授業> 作業学習（紙加工班 装飾グループ）

「オープンスクールに向けて目標数製品を作ろう」

今回は「生徒同士がグループミーティングを通して仲間意識を高めながら、一人一人が主役となり分業を進める姿」を願う姿として授業を行いました。

教師も分業に加わる中で、働く手本になるとともに、生徒の良さを認め、評価を具体的な言葉にして伝えます。



・生徒と教師が丁寧に点検して製品の質の向上を目指しています。

「〇〇だったね。」「〇〇だからできたね。」生徒の言葉やあらわれを認め、理由を添えて言葉掛けをすると、生徒は自信をもち、製品作りへのモチベーションがさらに上がることを改めて学ぶ研究授業となりました。

<仲間の進捗状況が一目でわかる出来高表>



<美しいペーパークラフト製品>



☆川原先生からは、すぐに意識・改善できる御助言をたくさんいただきました。

- ・タイミングを逃さずに必要な質と量で言葉を掛ける（教師の言葉は魔法）
- ・作業中の机の上、必然性のある動線の整理（作業環境を見直そう）
- ・身だしなみを整える、報告連絡時の言葉遣いや姿勢（社会人として最低限のマナーを）

☆令和4年12月8日（木）公開研究会に向けて、さらに授業改善、実践を積み重ねます！